

原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ
復興対策基礎基盤研究プログラム
事後評価総合所見

評価の概要	
研究課題名：原子力復旧・防災のための高エネルギーX線検査システムの開発 研究代表者（研究機関名）：高橋 浩之（東京大学） 再委託先研究責任者（研究機関名）：富田 英生（名古屋大学） 再委託先研究責任者（研究機関名）：石倉 剛（富士電機株式会社） 研究期間及び研究経費：平成24年度～平成26年度（3年計画）71百万円	
項目	要 約
1. 研究の概要	原子力関連施設の復旧・防災の観点から、最新の持ち出し可能な高エネルギーX線源を用いた原子炉・原子炉周辺の構造物を対象とした大型構造物のX線非破壊検査の実現のための、高エネルギーX線に特化したX線検出器を開発することを目的として研究を行った。
2. 総合評価	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px; text-align: center; width: 30px; height: 30px; line-height: 30px;">A</div> <div> <p> 廃炉等においては原子炉周辺の構造物を対象とした大型構造物の可搬型X線非破壊検査が必要になるものと考えられ、本研究は、高エネルギーX線に特化したX線検出器を開発し、そのような要請に応えようとしたもので評価できる。 X線源と合わせてシステムとしての実機への適用の具体的な提案と評価も示されると、実用化に向けて大いに期待できるものとなる。 </p> <p> S) 極めて優れた成果が挙げられている A) 優れた成果が挙げられている B) 一部を除き、相応の成果が挙げられている C) 部分的な成果に留まっている D) 成果がほとんど挙げられていない </p> </div> </div>